

1. PLCの概要

- ◇ 多様な価値観の共有、コミュニケーションの活性化等を目的に、部署を越えて意見交換を行う場
- ◇ 毎回、業務等に関する様々なテーマについて自由に対話する（メンバーは固定せず参加は自由）
- ◇ 隔週で1回1時間程度で実施
（隔週木曜日の15時～行うことが多い）



2. 最近のテーマ

- ・5/10「PLCで話してみたいこと」
- ・5/23「研修参加者の学びを応援する工夫」
- ・6/6「採用説明会の進め方について」
- ・6/20「オフィスデザインの工夫」
- ・7/11「こども霞が関見学デーについて」
- ・7/18「4法人職員研修のテーマについて」
- ・8/1「NITSオリジナルペットボトルについて」
- ・8/29「コーポレート・アイデンティティ」

2. 最近のテーマ

<NITSオリジナルペットボトルについて>

- ◇そのペットボトルが少しでも**広報につながるような工夫**ができると良いのでは
- ◇その場で飲む用とは別に**お土産用**があっても良い
- ◇つくば本部の**自販機で販売**しても面白そう
- ◇まずは**NITSのラベルシールを貼る**など、低コストでできることから始めてみても良いかも

2. 最近のテーマ

<コーポレート・アイデンティティ>

- ◇ NITSのメッセージとして何を発信するか、まずは**職員間でミッションを共有**するのが大事
- ◇ 社会への発信だけでなく、**職員のモチベーション向上**にもつながる（毎月22日は〇〇DAYなど）
- ◇ Tシャツや付箋などの**NITSグッズ販売**もあり
- ◇ カスミ商品の並びに置けば結構売れるのでは
- ◇ **NITSを一言で表すメッセージ**を考えたい

3. PLCの今後の在り方

◇ より開かれた場にするために…

- 様々なテーマについて話し合う
(財務、試験、情報システム、人材育成…etc.)
- いろんな方に話題提供者になってもらう

◇ 参加者の学びにつなげるために…

- 誰もが発言しやすい雰囲気づくり
(リラックスできる環境デザイン)
- 対話が活性化するためのファシリテーション

3. PLCの今後の在り方

◇ さらに発展した形の模索

- ・PLCのような場が自然に生まれるようにするには
- ・自然と対話したくなるような仕掛け
(オフィスデザイン、対話のきっかけ作り)
- ・対話が当たり前となる組織文化の形成
(対話を推奨する制度や施策の推進)

<対話を推奨する制度や施策の例>

ウォーキング・ミーティング、おごり自販機、1on1ミーティング、モヤモヤ会、仕事Bar、自己紹介カード、社内報、社内SNS、サンクスカード、フリーアドレス、…etc.

4. PLCを通じて得た学び

① 仕事観の変化

仕事≠決められた業務をこなす
仕事＝常に「より良く」する視点を持つ

仕事≠生きるために仕方なく行うこと
仕事＝より良く生きるために、自分の
やりたいことを実現すること

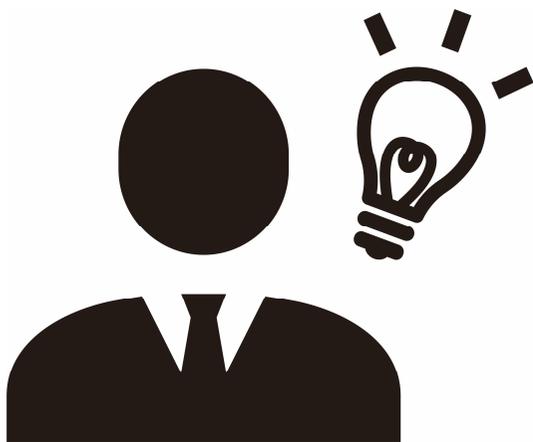
対話も立派な仕事の一つ（むしろ必要不可欠）



4. PLCを通じて得た学び

②NITSで働く者としての当事者意識の芽生え

様々な視点から
冷静に正しさを
判断する



自分の仕事の仕方は自分が納得できるものか、社会を納得させられるものか

自分の立場では何も変えられない…
⇒まず人に話してみる、提案してみる、
自分にできることを考え、行動する

4. PLCを通じて得た学び

③組織開発、人材開発への関心

職員のモチベーションやエンゲージメントを高めるにはどうしたら良いか

組織のミッションと個人の自己実現をすり合わせることで、組織全体のパフォーマンスを最大化する

ウェルビーイングが満たされる職場や働き方

